

# 公益社団法人松阪青年会議所

## 2019年度 基本方針

総務室 室長 大藪 綾治

担当委員会 総務渉外委員会

### 《基本方針》

松阪青年会議所の歴史の礎は先輩諸兄のまちに対する「おもい」を源泉とした運動の展開と、その運動を通じて「おもい」に共鳴し、共にまちのために活動してこられた市民の力により構築されています。創立65周年を迎える本年において、我々会員はその礎から生まれる恩恵に甘んじるのではなく、未来のために我々の手によって新たな礎を築き上げることの必要性を感じ、青年会議所として展開すべき運動の在り方を見つめ直す。そして、その打ち立てた「在るべき姿」に向かい会員全員で奮起し、新たな一歩踏み出すための節目であると考えます。

我々総務室はその力強い一歩を踏み出すために、組織の活性化を図り、会員一人ひとりが遺憾なく魅力を発揮できる組織環境を構築する責務があります。これは総務の職務を受動的な作業と捉えるのではなく、その組織環境構築の中樞を担う経営的総務の意識を持ち職務に取り組むことで組織の成果向上に寄与することを意味します。

そして、先に述べた組織環境を支えるのは同志や市民に対し真摯に向き合うことで生まれる「おもいやりのこころ」に他なりません。目的の達成に向かう過程で、互いを尊重し合い、互いを高め合うことの出来る関係性を構築することが青年経済人としての学びの一つであり、その学びを血肉化させるために数多くの実践の機会に溢れていることこそが青年会議所の魅力であると考えます。

我々が青年会議所会員らしく活動に邁進するためには、「おもいやり」の語源である「おもいを遣る」の言葉の通り、自身が他者のために抱く「おもい」をしっかりと伝え、その熱量でこころを震わせ合うことが大切です。そして、その振動が大きな波紋を起こし、同志や市民を巻き込みながら強い共鳴を生むことになるでしょう。